

バスケットボールプラザ

Basketball Plaza

No.85



2020 年 2 月

NPO 法人 日本バスケットボール振興会

目 次

○ 天皇杯・皇后杯 結果・・・・・・・・・・・・・・・・	2
全日本バスケットボール選手権大会 2020	
○ ウィンターカップ 2019 の結果・・・・・・・・	7
優勝は、男子 福岡第一・女子 桜花学園	
○ オリンピックの輝き・・・・・・・・歴史部・・・	10
－ここにしかない物語－ を読んで	
○ 日本バスケットボール協会発足 90 周年・・・・・・・・歴史部・・・	14
最近の 10 年と次に飛躍の 100 周年に向かって	
○ 医科大学スポーツの在りかた・・・・・・・・普及部・・・	16
医学部バスケットボール部を取材して	
○ 会員だより	
リングに向かって“飛べ”10 年後の子供達・・・・・・・・鈴木承二・・・	20
その 6：埼玉県立飯能高校女子バスケットボール部	
アジアのバスケット好きの仲間たち・・・・・・・・鈴木承二・・・	22
その 7：第 13 回アジアシニア日本人大会観戦記	
鹿嶋アジアユースを終えて・・・・・・・・多胡英子・・・	24
第 11 回ネットボールアジアユース選手権大会	
○ 12 月 21 日はバスケットボールの日・・・・・・・・普及部・・・	26
東京都狛江市などで記念行事開催	
○ 第 21 回 Wリーグ情報・・・・・・・・	28
○ F I B A アジアカップ 2021 予選始まる・・・・・・・・	29
2 月 21 日から第 1 ラウンド開催・日本の日程	
○ 事務局だより・・・・・・・・	30
○ プラザこぼればなし・・・・・・・・	31

天皇杯・皇后杯 結果

全日本バスケットボール選手権大会 2020

[編集部]

恒例の「バスケットボールチーム日本一」を決定する全日本バスケットボール選手権大会は、天皇杯・皇后杯ファイナルラウンドとして1月10日（金）から12日（日）まで、男女各8チームにより埼玉県さいたま市の「さいたまスーパーアリーナ」で開催された。

この大会は、47都道府県の代表を含む1次ラウンドを突破したチームによる2次ラウンドを経て、1月のファイナルラウンドで優勝が決まる。

1次ラウンド

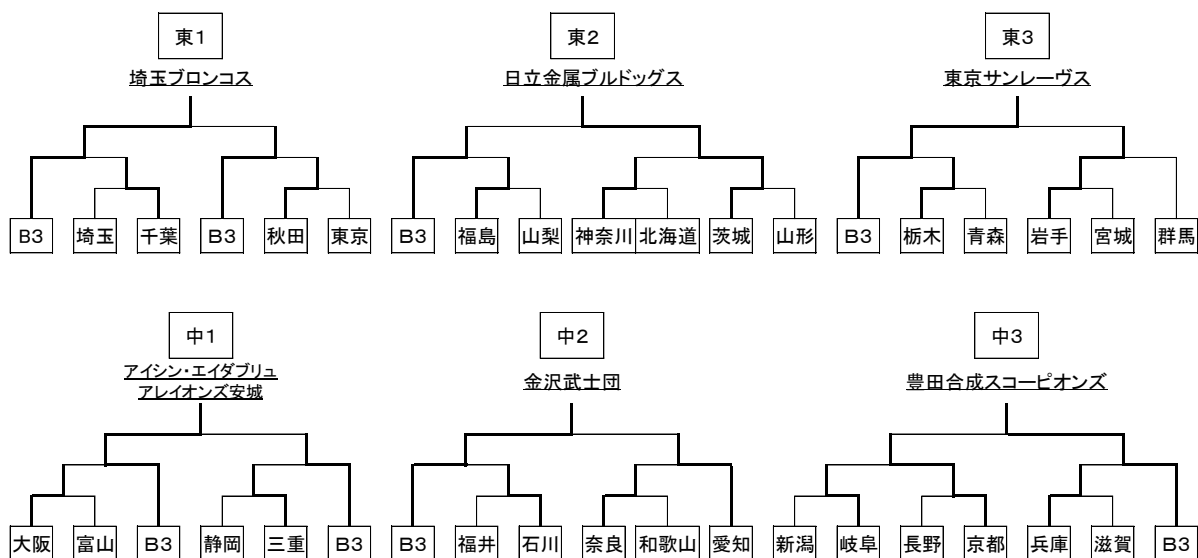
9月21日～23日に下記会場で実施され、都道府県代表47チームが参加した。

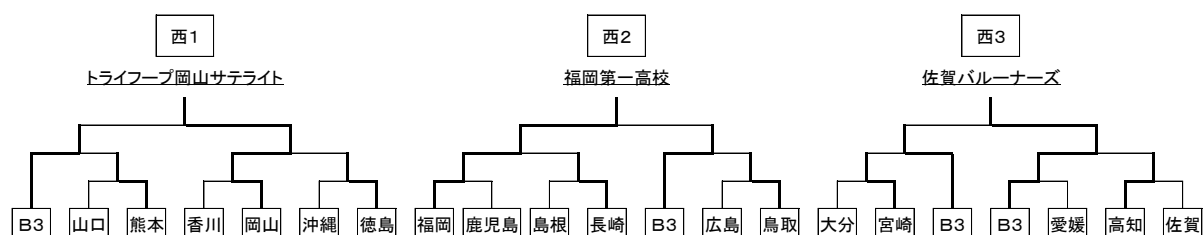
地 区	開 催 地	アリーナ
東日本大会	千葉県船橋市	船橋アリーナ
中日本大会	兵庫県西宮市	兵庫県立総合体育館
西日本大会	徳島県鳴門市	鳴門県民体育館 アミノバリューホール

東日本大会は北海道から山梨まで、中日本大会は長野から和歌山まで、西日本大会は鳥取から沖縄までに区分され、都道府県代表47チームが出場した。

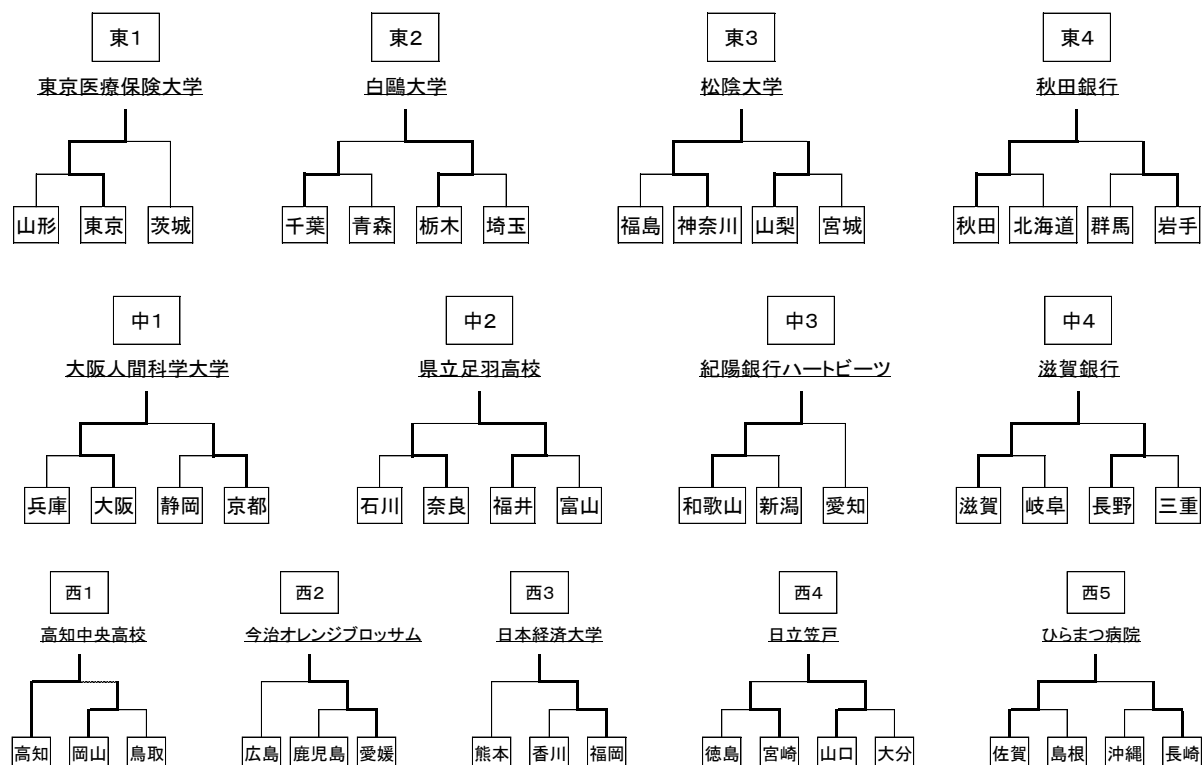
この都道府県代表チームに、男子はB3リーグ所属の12チームを加えた59チームで6ブロック、女子は上記代表の47チームのみで13ブロックを編成し、この各ブロックのトーナメント形式による勝者、男子6チームと女子13チームが2次ラウンドへ進んだ。

1次ラウンド 男子結果





1次ラウンド 女子結果



2次ラウンド

11月30日と12月1日に、上記1次ラウンドでそれぞれのブロックを勝ち抜いたチームが東北から四国までにわたる下記の全国8会場（男子・女子共通）で対戦した。

開催地	都市	アリーナ
岩手	岩手県奥州市	奥州市総合体育館 Zアリーナ
栃木	栃木県宇都宮市	ブレックスアリーナ宇都宮
新潟	新潟県柏崎市	柏崎市総合体育館
愛知	愛知県刈谷市	ウィングアリーナ刈谷
京都	京都府京都市	島津アリーナ京都
大阪	大阪府堺市	堺市金岡公園体育館
和歌山	和歌山県和歌山市	ノーリツアリーナ和歌山
愛媛	愛媛県松山市	愛媛県総合運動公園体育館

2次ラウンド 男子結果

男子は、1次ラウンド突破の9チームにBリーグ成績上位23クラブを加えた32チームを開催地ごとの8ブロックに分けてトーナメント形式で争い、それぞれのブロック勝者8チームがファイナルラウンドに進んだ。

勝者はすべてB1リーグのチームであるが、開催地和歌山では、前年度優勝の千葉ジェッツがレバンガ北海道に66-78で苦杯を喫している。

B3の金沢武士団、茨城県の日立金属ブルドッグスがBリーグチームに善戦したことが評価される。また、高校勢トップの福岡第一が前年度覇者の千葉ジェッツに挑んだが、完敗を喫した。

開催地		11/30	12/1	12/1	11/30	開催地
前年度優勝	千葉ジェッツ	109		61	ライジングゼファー福岡 B2	
福岡県	福岡第一高等学校	73		83	滋賀レイクスターズ B1	愛媛
B1	レバンガ北海道	87	66	72	佐賀バルーンズ B3	
B1	横浜ビー・コルセアーズ	54	78	64	琉球ゴールデンキングス B1	
B1	京都ハンナリーズ	82		73	熊本ヴォルターズ B2	
B3	金沢武士団	79		83	大坂エベッサ B1	大阪
B1	富山グラウジーズ	95	67	64	豊田合成スコーピオンズ B3	
岡山	トライフーブ岡山サテライト	61	74	87	川崎ブレイブサンダース B1	
B1	新潟アルビレックスBB	85		70	アイシン・エイダブリュアレイオンズ安城 B3	愛知
茨城	日立金属ブルドッグス	81		88	名古屋ダイヤモンドドルフィンズ B1	
B1	サンロッカーズ渋谷	85	72	59	Fイーグルス名古屋 B2	
B2	群馬クレインサンダース	78	80	75	シーホース三河 B1	
B1	宇都宮ブレックス	115		61	島根スサノオマジック B1	岩手
B3	東京サンレーヴス	71		72	秋田ノーザンハピネス B1	
B1	三遠ネオフェニックス	44	74	52	埼玉ブロンコス B3	
B2	信州ブレイブウォリアーズ	69	65	83	アルバルク東京 B1	

2次ラウンド 女子結果

女子は、1次ラウンド突破の13チームにWリーグ12チームを加えた25チームを開催地ごとの8ブロックに分けたトーナメント形式で争い、それぞれのブロック勝者8チームがファイナルラウンドに進んだ。

勝者はすべてWリーグのチームとなったが、秋田銀行の活躍があり、そして東京医療保険大学、白鷗大学、日本経済大学、大阪人間科学大学といったトップリーグを目指す人材を擁する大学勢の善戦が頼もしい。

開催地		11/30	12/1	12/1	11/30	開催地
愛媛	前年度優勝 JX-ENEOS サンプラウーズ					和歌山
	愛媛 今治オレンジブロッサム	64	56	125	73	高知中央高等学校 高知
	滋賀 滋賀銀行	73			99	紀陽銀行ハートビーツ 和歌山
岩手	WJBL シャンソン化粧品 シャンソンVマジック	71			68	トヨタ自動車アンテロープス WJBL
	東京 東京医療保健大学	68	49		121	白鷗大学 栃木
	WJBL 日立ハイテククーガーズ	80	65		77	山梨クィーンビーズ WJBL
	神奈川 松陰大学	46			86	東京羽田ヴィッキーズ WJBL
新潟	WJBL トヨタ紡績 サンシャインラビッツ		82		74	日本経済大学 福岡
	WJBL 新潟アルビレックス BBラビッツ	66	55		58	アイシン・エイ・ダブリュ ウイングス WJBL
	秋田 秋田銀行	61			70	富士通レッドウェーブ WJBL
愛知	WJBL デンソーアイリス		117		65	県立足羽高校 福井
	佐賀 ひらまつ病院	56	51		80	大阪人間科学大学 大阪
	山口 日立笠戸	66			118	三菱電機コアラーズ WJBL
					63	
					84	

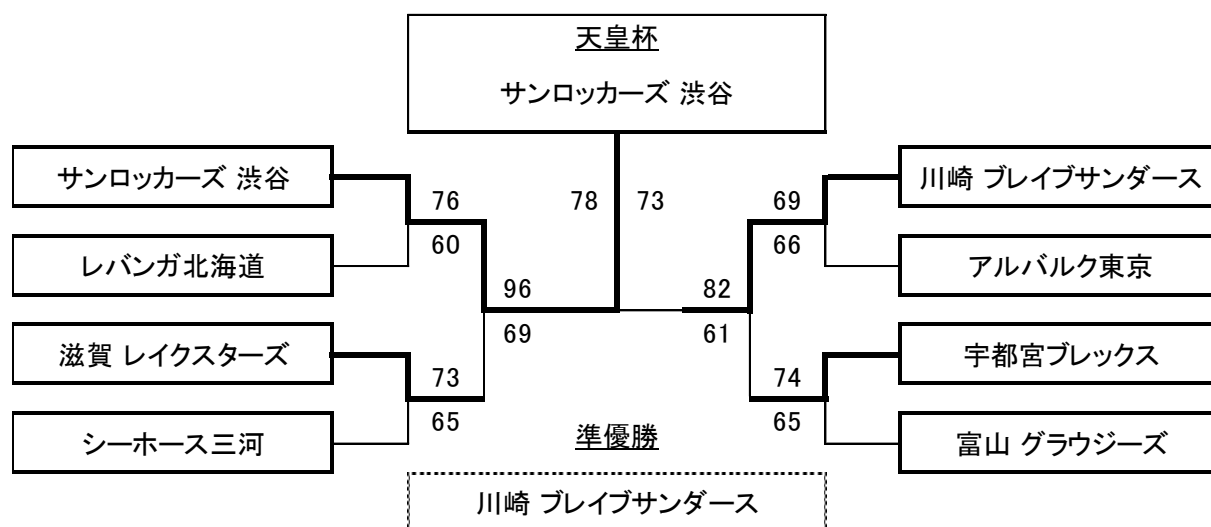
ファイナルラウンド

1月10日～12日、埼玉県さいたま市さいたまスーパーアリーナで開催された。

このラウンドは、男子、女子で2次ラウンドの勝ち上がり各8チームによるトーナメント戦であり、組合せ（対戦相手）は2次ラウンド終了後、抽選により決定された。

結果は下記の通り。

ファイナルラウンド 男子結果

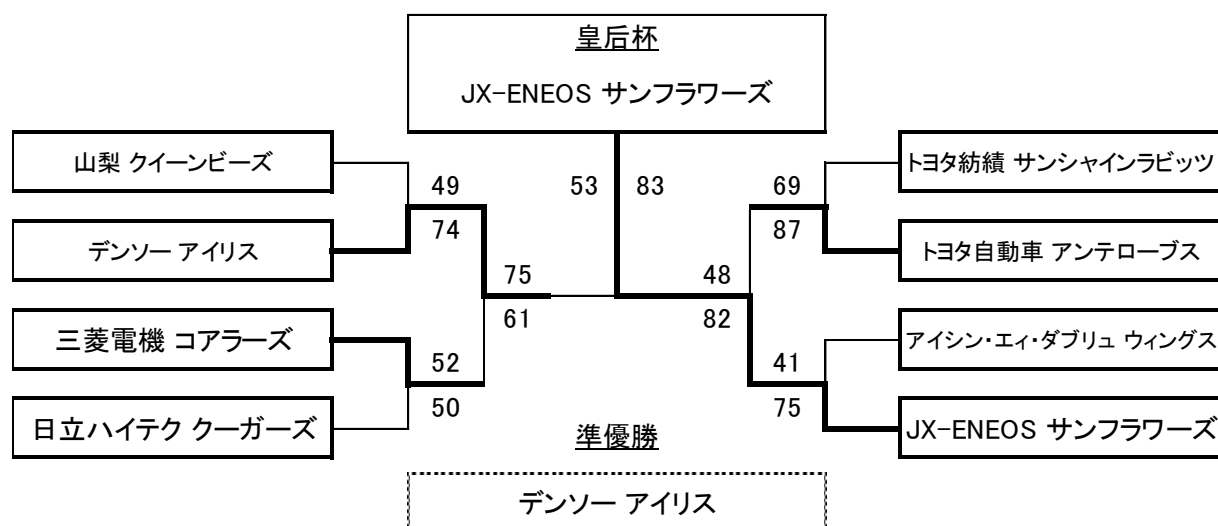


決勝戦は前半 35－35 の同点で最後まで予断を許さず、渋谷が前身の日立東京時代以来、5 大会ぶり 2 度目の優勝を果たした。

ベスト 5

ベンドラメ礼生、セバスチャン・サイズ、ライアン・ケリー（以上、渋谷）、
辻直人、ファジーカス・ニック（以上、川崎）

ファイナルラウンド 女子結果



決勝戦は J X－E N E O S がデンソーを圧倒して 7 大会連続 24 度目の優勝を果たした。

ベスト 5

渡嘉敷来夢、宮澤夕貴（以上、J X－E N E O S）、
高田真希、赤穂ひまわり（以上、デンソー）、 渡辺亜弥（三菱電機）

ウィンターカップ 2019 の結果

優勝は、男子 福岡第一・女子 桜花学園

[編集部]

本年度の高校バスケット界最高峰を決めるウィンターカップ「SoftBank ウィンターカップ 2019 令和元年度 第 72 回全国高等学校バスケットボール選手権大会」は、12 月 23 日から 29 日まで、武蔵野の森総合スポーツプラザを主会場として開催された。1・2 回戦まではエスフォルタアリーナ八王子を補助会場とし、男女それぞれ 60 校が対戦した。

男女それぞれの対戦結果は勝ち上がりのトーナメント表で後に掲示する。

男子は総体 1 位の福岡第一が危なげなく勝ち進み、同県勢の福岡大附属大濠との決勝も快勝して、この大会 2 連覇を達成した。決勝で福岡第一は前半 42-29 と圧倒したが、後半福岡大附属大濠の反撃に遭い、結局 75-68 で勝利した。

女子も、総体 1 位の桜花学園が 2 位の岐阜女子に迫られたが前年度の雪辱を果たし、3 年ぶりの優勝を飾った。桜花学園は、前半半ばで 30-17 とリードしながら、前半は 34-33 で終り、第 3 クォーターでシーソーゲームを演じて 49-46 の 3 点差としたのち、第 4 クォーターでもリードを守り、最後に 72-67 で勝利するという苦戦を強いられていた。

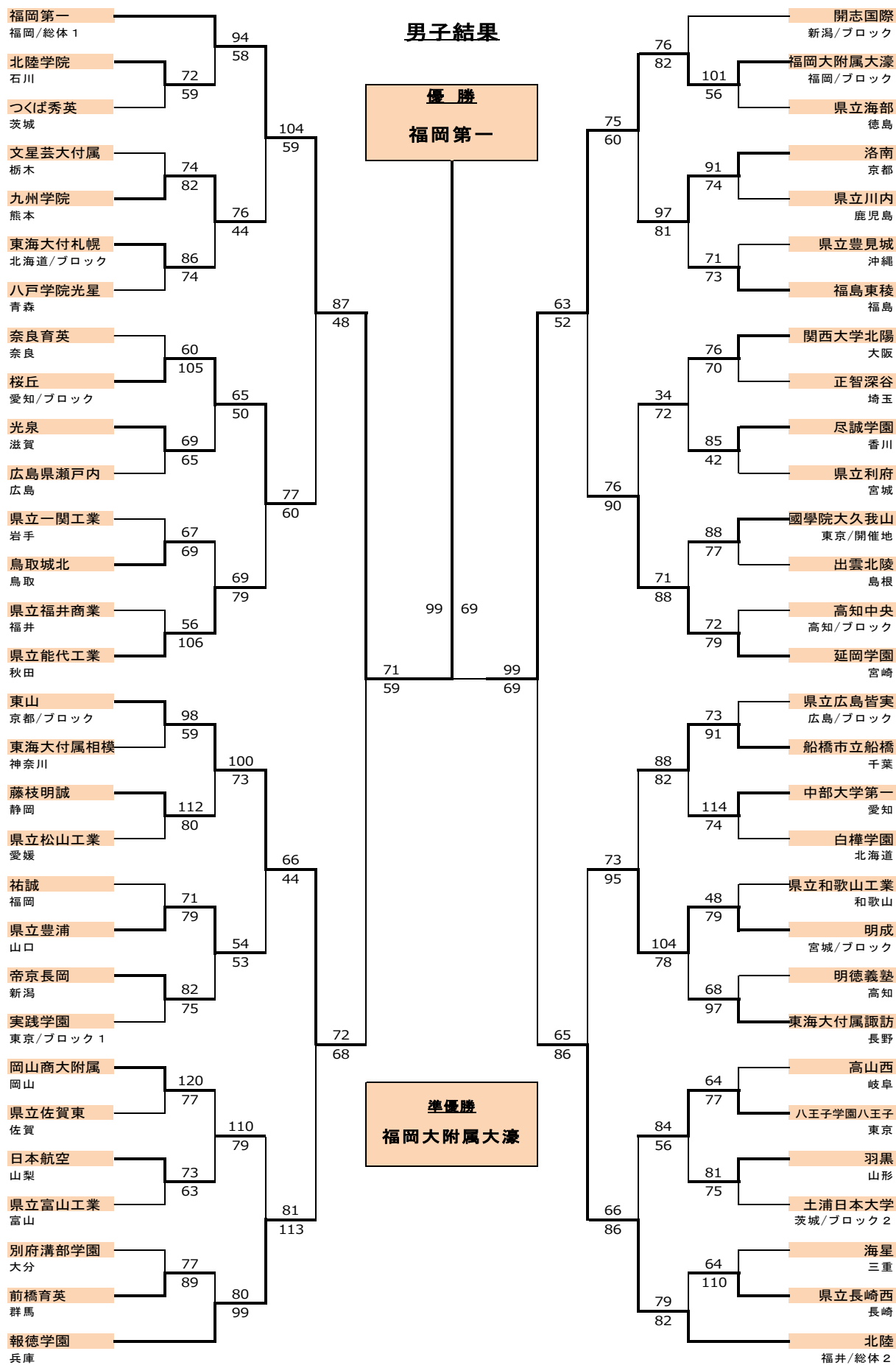
男女各 60 チームの内訳

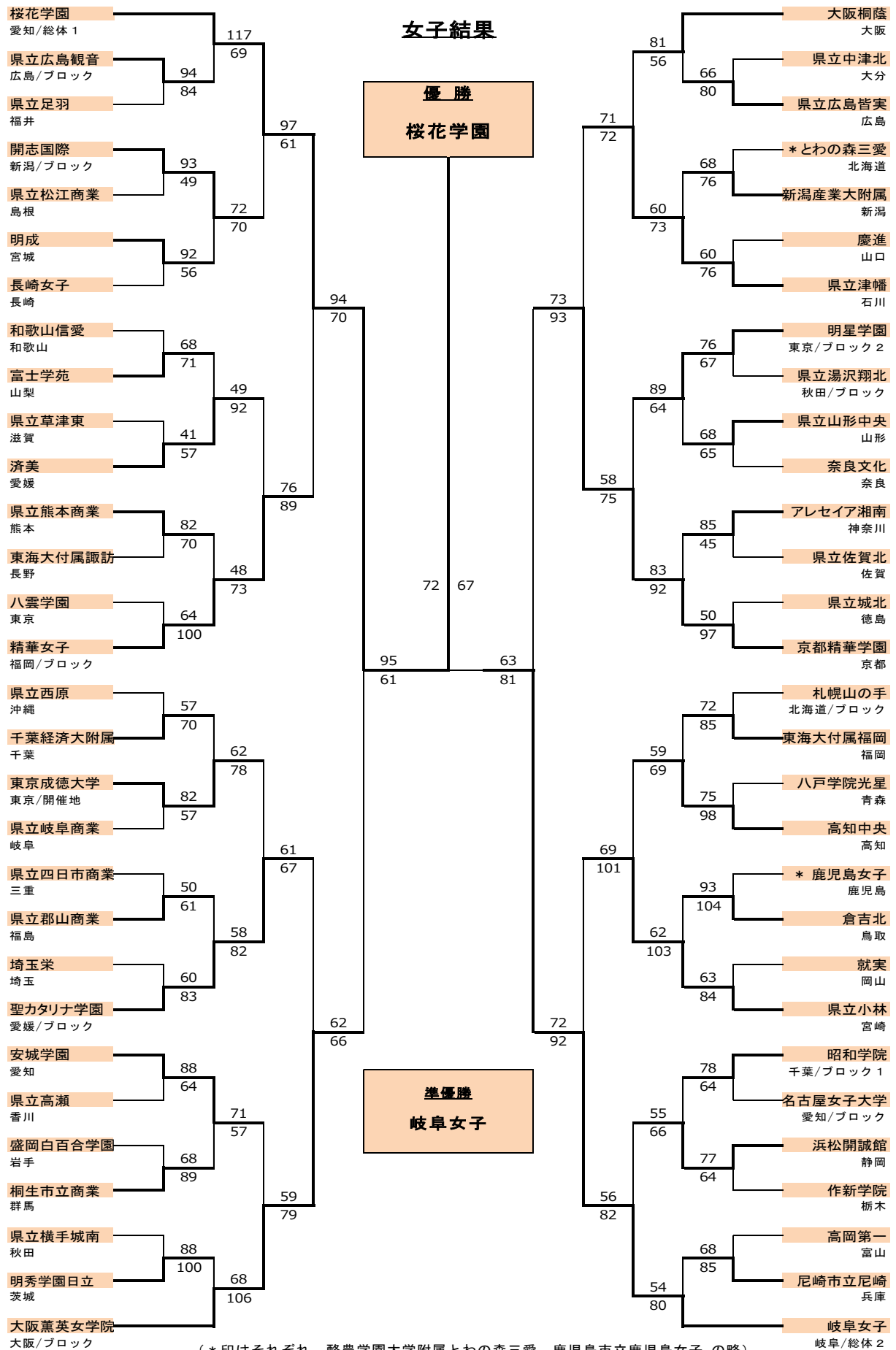
- (1) 各都道府県から推薦または選出された都道府県代表各 1 チーム、合計 47 チーム、
- (2) 実施委員会から推薦された本年度総体（インターハイ）優勝・準優勝の 2 チーム
- (3) 全国 9 ブロック、ブロック大会優勝の都道府県から推薦の各 1 チーム、計 9 チーム
関東ブロックのみ、準優勝の当該都道府県から推薦の 1 チーム
- (4) 開催地（東京都）から推薦された上記以外の 1 チーム

この結果、複数の強豪チームが在籍する都道府県で、2 番手に位置するチームに出場の機会が生じた。各都道府県は、下記により 9 ブロックに分かれ、毎年春季新人戦を経て、ブロックごとに大会が開催されている。

各ブロックと所属する都道府県名

<u>ブロック</u>	<u>都道府県名</u>
北海道	北海道
東北	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
関東	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県
北信越	長野県、新潟県、富山県、石川県、福井県
東海	岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
近畿	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
中国	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
四国	徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九州	福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県





「オリンピックの輝き」

—ここにしかない物語— を読んで

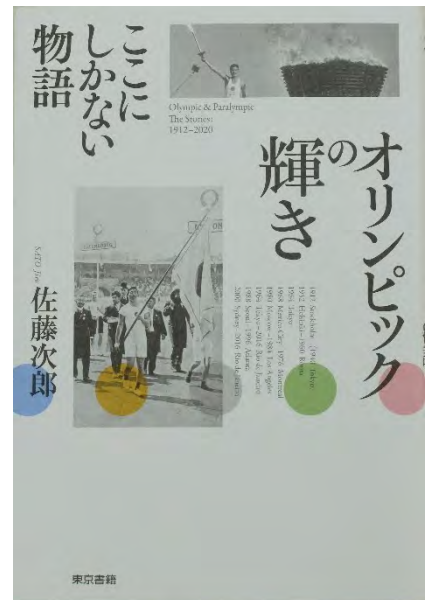
[歴史部]

いよいよ 2020 年、東京オリンピック・パラリンピックの開催が目前になった。昨年 6 月、標記の本がスポーツライター佐藤次郎氏によって東京書籍から発行された。そこには「冒頭、1896 年・第 1 回大会を開いた近代オリンピックは 8 競技 42 種目が行われ 14 ケ国から 241 人の選手が参加して最初の足跡がアテネでしるされた。以来、4 年に 1 度のオリンピックは世界大戦による中止を含みながらも世界中から愛される至高の祭典として回を重ね、夏季大会は 30 回を越え、これまでに参加した選手の数はいくつもの大会で合計すると何と 15 万 6 千人に上っている」と、書かれている。

この本は、オリンピックの歴史を 8 つの章に分け、その時代の流れを背景に、筆者の視点から「ここにしかない物語」としてその時代の人物を取り上げ、興味とエピソードを綴っている。

歴史部会としては、過去のオリンピックについての記録や、関係者の座談会開催を、プラザで報告しているが、改めて「ここにしかない物語」に登場するバスケットボール関係者を「日本バスケットボール協会 50 年史」（表題：バスケットボールの歩み）などを参考にして読んでみた。

※ 以後の文中で「オリンピックの輝き」の引用については「本書」と記し、「日本バスケットボール 50 年史」は「50 年史」、「バスケットボールプラザ」は「プラザ〇〇号」と略記し、諸氏の敬称は省略する。



第 1 章 黎明期（1912～1940）

「副島道正」（ソエジマミチマサ）（男爵・弁護士）が登場、副島は IOC 委員を務めているが、1931 年に創立された大日本バスケットボール協会の初代会長も務めている。「座談会 ベルリンオリンピック大会」（50 年史 P101）によると前回のロスアンゼルス大会に出向き、李想白とともにバスケットボールを公式種目に採用するように IOC 委員会に働きかける歴史的に重要な役割を果たした。その結果、バスケットボール競技はベルリン大会から採用され、日本のオリンピック参加の歴史はベルリン大会から始まった。

因みに NHK の大河ドラマ「いだてん」では、映画監督でもある塚本晋也が演じ 1940 年のオリンピック開催地の最有力候補であった国がイタリア首相のムッソリーニに東京に譲ってほしいという交渉をしている。

ベルリン大会で正式種目となった「バスケットボール」では、日本男子代表チームは、38 ケ国中 9 位の成績で「霧散した 2 位」とも書かれている（50 年史 P109）。残念ながら 1940 年に予定された「東京オリンピック」の開催は戦争の影響で中止となり、1942 年戦時下で

はあったが「満州国建国 10 周年祝東亜大会」を東京で開催し、日本は、満州国・中国を破り全勝した（50 年史 P87）。その中心となった選手が、ベルリンオリンピックに出場した田中秀次郎、前田昌保、横山堅七、鹿子木健日子などである。

第 2 章 再出発（1952～1960）

日本は、第 2 次世界大戦で敗戦国となったが、バスケットボール関係者の情熱は熱く燃え立った。終戦から 3 ケ月後の 11 月 27 日には大日本体育協会籠球部会の理事会を開き、協会再建の準備会を組織して 12 月 10 日「日本籠球協会」を発足する（50 年史 P124）。翌年 1946 年には「全関東対全関西」の試合を関西で行っている。

1948 年に開催されたロンドン大会には、戦争の責任を問われてドイツと日本は I O C からオリンピックに招待されなかった。

しかし、国内では、アメリカ占領軍の政策もありスポーツ、特に野球とバスケットボールの復活は早かった。占領軍はキャンプ地に体育館を建設し、日本の学生、実業団チームとの交流も盛んに行われた。まだ日本では、物資が欠乏しており、ボール、シューズなどを占領軍から提供されたことも競技の普及に繋がっていると当時の関係者は語っている（50 年史 P161）。

1949 年 12 月には G H Q オールスター軍との試合も許可され、1950 年には A J A 軍（ハワイオールスターチーム）と全日本チームとの試合が全国各地で 8 試合行われた。バスケット会場もメモリアルホール（両国の元日大講堂）、ナショナルジム（神田元国民体育館・神田体育館）が使用された。

同年、日本協会は国際連盟への加盟が実現する。1951 年 5 月に開催された国際オリンピック委員会のウイーン総会で 1952 年ヘルシンキ大会（フィンランド）への参加が認められ、戦後初めて日本が国際舞台へ復帰することに決定した。

ここでバスケットの競技とは無関係であるが、日本が参加できなかったロンドン大会（イギリス）の水泳競技では同時刻に、日本水泳選手権が明治神宮プールで開催されている。この時には、古橋広之進が 1500m、400m 自由形の二種目でロンドンオリンピックの優勝者記録を大幅に上回っている。

ロンドン大会でのアメリカ代表監督のロバート・キップスはこの知らせを聞いて「日本がこんなに早く復活するとは思わなかった。心からおめでとうと言いたい」と日本へ祝電を打ったという（本書 P47）。

そして 1949 年にはロスアンゼルスで開催された全米水泳選手権に日本チームが派遣された。戦後わずか 4 年後の出来事である。因みにヘルシンキ大会の水泳競技では古橋選手は 400m 自由形の決勝で 8 位に終わっている。

さて、バスケットもヘルシンキ大会出場を目指して派遣すべき選手のレベルが国際水準に達したことを考慮し、国際大会、アジア大会特にフィリピンとの対戦結果などを参考に日本体育協会に「趣意書」を送り出場の機会を求めた。しかし、全体の費用などの関係からバスケットボールの派遣は見送りになった（プラザ No. 51）。だが選手の努力に加え役員の方々が総力をあげて体協と J O C に働きかけた結果、次のメルボルン大会に参加することになり、大会出場という悲願が達成された。今回「日本一丸」というスローガンのもとに 2020 年東京オリンピック出場ができたことと同様な感じがする。

第 3 章 「世紀の祭典」1964 年東京大会

この章に「バスケットボール代表チーム」として「増田貴史（現姓木内）」が登場する。

テーマは「連携」で埋めた身長差である。メルボルン大会に続いて出場したローマ大会に増田は20歳の若さで参加、16ヶ国が参加した大会で15位7戦全敗の成績だった。身長差、技術でも世界との差は歴然としていて、増田は考えた末に「我々の持っているものを100%出したらどこまでできるのか。もっとやり尽くすべきところがあるんじゃないか」(本書P98)と結論付け、バスケット界も挙げて努力した。ナショナルチームの常設、大型の若手の発掘、アメリカからのコーチ招聘、海外遠征による強豪との対戦などである。

迎えた東京大会では、身長差はさほど変わらないが戦いぶりは大きく変わり、ボールを動かして相手をくずし、確実にシュートを決めに行った。守っては2人、3人がかりで相手の大型選手に対応し、「連携を」武器に9戦して4勝を挙げ、ヨーロッパの強豪イタリアも倒した。振興会で開催した参加選手の座談会で、全員が母国開催のためやり尽くすべきことはやり遂げたという満足感を述べていたことが深く印象に残っている(プラザNo. 61、62)。

また、この大会の決勝戦のレフェリーを日本人として初めて松尾武司が吹いたことも記憶しておく必要がある。

この大会の閉会式では、アナウンスした土門正夫(NHK)が、戦いを終わり選手たちが笑いながら肩を組みあう情景を「このような美しい姿を見たことはありません」と人々の心を打つ言葉を伝えている(本書P120)。

第4章 過渡期 (1968~1976)

1972年ミュンヘン大会では、オリンピック村にアラブゲリラが侵入してイスラエル選手が11人死亡している。当時IOC委員長であったブランデーは、アマチュアリズムの守護神として20年間にわたり君臨してきたがこの大会を最後に引退し、オリンピック憲章から「アマチュア」の言葉が消えた。

筆者はこの時代を激動に向き合った時代ととらえた。東西冷戦が長く続きメキシコ大会の直前にはワルシャワ条約機構が破られ、ソ連軍がチェコスロバキアに侵攻「プラハの春」が軍事力で押し付けられた。

次の1976年モントリオール大会では、女子バスケットが正式種目として採用され、日本の生井けい子(現姓今野)が登場する(本書P154)。6ヶ国が参加してロシアがずば抜けた力をもっていたが、他のチームは横一線で、日本は初戦でアメリカを破り生井選手は35点をあげている。「忍者ディフェンス」と称され前年の世界選手権では、銀メダルを取った日本チームであったが、続くカナダには快勝したものの残る3戦に敗れ5位に終わった。

男子チームも激戦のアジア地域予選を勝ち抜き、ミュンヘン、モントリオールと2回続けてオリンピック出場を果たしている。両大会に出場した選手の口々からアジア予選の激戦の様子を知ることができる(プラザNo. 80、81)。

第5章 激動の記憶 (1980~1984)

オリンピックを未曾有の暗雲が襲う。ソ連のアフガン侵攻に抗議して1980年モスクワ大会にアメリカなど西側諸国(日本を含む)が大会をボイコットし、その報復として次のロスアンゼルス大会にはソ連を含む東側が参加を取りやめている。

1984年ロスアンゼルス大会では、民間の資金導入による独自に財源を確保する方式が成功し、スポンサーの確保、特に高額なテレビ放映権が定着することになる。以降オリンピック開催の日程は、スポンサーの意向が大きく影響し東京大会も真夏の8月開催されることになる。

第6章 パラリンピック

パラリンピックは、1964 年東京大会で始めて開催され、認知度も高まっている。筆者は、オリンピックは「人間が無限の力を秘めていることを示す」大会であり、パラリンピックは「人間の努力が無限であることを示す」大会であるとしている（本書 P182）。

車いすバスケットボールの項目で「星義輝」が登場している。福島県の養護学校に通った星は 18 歳から日本の車いすバスケットボールの先頭に立ち、パラリンピックには 4 回連続出場。その後 42 歳で車いすテニスの競技に転向した星が小学校から中学迄教えた国枝慎吾は、世界王者となつて、東京オリンピックでもメダルを期待されている（本書 P195）。

第7章 発展（1988～1996）

バスケット関係者にとって 1992 年バルセロナ大会のアメリカドリームチームの実現は夢の出来事であった。NBA のスーパースター達がアメリカのユニフォームを着て舞台に登場した。まさに「異次元の夢」の衝撃である（本書 P218）。

すでにどの競技でも進んでいたオリンピックのプロ化の方向性がここから一層強まり、商業主義もますます加速してオリンピックの完全なる変質を一足先にみさせたものであった。

第8章 新世紀（2000～2016）

北京大会の女子レフェリーを担当した「平原勇二」が登場する。東京大会の松尾武司に続いて史上 2 人目となる決勝戦のレフェリーだ。いうまでもなく競技において審判の役割は極めて重要であり、しかも決勝戦となるとその重要さは大変なものである。2020 年の東京大会を迎えるにあたって 48 歳になる彼はもっと良いレフェリングを目指して努力中だ（本書 P241）。

あとがき

このような歴史を通じ、2020 年の東京大会を迎える複数の若者が NBA の舞台で活躍し、国内の B リーグ、WJBL でも世界水準のリーグ戦を展開している。

地域に密着したチームの存在は、多くの観客眼を育てて選手を励まし、時には厳しい意見も必要となつてこよう。

ここに登場される先人たちの志をしっかりと受け止め、明日につなげていきたい。

著者「佐藤次郎」氏 略歴

1950 年（昭和 25 年）生まれ。神奈川県横浜市出身。

大学卒業後、1973 年中日新聞社入社。

同東京本社（東京新聞）社会部、特別報道部などを経て、1986 年から運動部に在籍。

運動部長を務めた後、編集委員兼論説委員を歴任した後、スポーツライター。

ジャーナリストとして本の執筆、評論活動を続けている。



『オリンピックの輝き』は全国書店で好評発売中、

本体 1700 円（税別） 発行所 東京書籍株式会社

（文責 上谷 富彦）

日本バスケットボール協会発足 90 周年

最近の 10 年と次に飛躍の 100 周年に向かって

[歴史部]

1930 年(昭和 5) 9 月 30 日に大日本バスケットボール協会は創立された。
現在の「公益財団法人日本バスケットボール協会」(JBA)は、日本のバスケットボールの活動の歴史を継承し、2020 年(令和 2)には「創立 90 周年」を迎える。

日本協会は、この歴史の中で「周年記念行事」の開催、「功労者」の表彰、「記念誌」の発行などの事業を行っている。

1942 年(昭和 17)、大日本バスケットボール協会は、創立 10 周年を記念して、協会設立に尽力した功労者を表彰している。

「特別功労者」 7 名

副島道正、近藤茂吉、浅野延秋、小林 豊

李 相伯、富田毅郎、妹尾堅吉

「功労者」 16 名

今井時郎、 武藤安雄、 大島正一、 松岡熊三郎、 坂 勘造、 上條春雄

芦田伸三、 三ッ本常彦、 牧山圭秀、 池上虎太郎、 三橋 誠、 牧野久光

鈴木重武、 野村 瞳、 七海 久、 大村泰三

(※ 当振興会では、「牧山圭秀」氏の功労者表彰の記念メダルを所蔵している。)

1956 年(昭和 31)「創立 25 周年記念功労者」として全国から 161 名の人たちが功労者表彰を受け、代表して最長老の「近藤茂吉」が名誉総裁であった高松宮様から記念のメダルを授与されている。

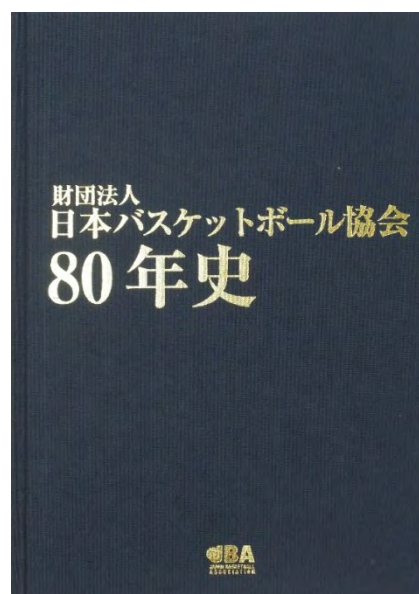
1980 年(昭和 55)「創立 50 周年事業を」を開催、「功労表彰」も行った。また、当時の 50 年史編さん委員会の努力によって「日本バスケットボール協会 50 年史 バスケットボールの歩み」を発行。その内容は、各世代の座談会、都道府県協会の歴史、各大会の記録など多岐にわたり、日本バスケットボール界 50 年の集大成として後世に残る貴重な資料が発行された。



2010 年(平成 22) には、「財団法人日本バスケットボール協会 80 年史」の発行とともに「記念表彰」・「功労表彰」も行われ、盛大に記念行事を開催。未来に向けて「JBA2010 宣言」が発表された。

「JBA2010 宣言」では、「JBA の理念」「JBA のビジョン」の発表に加え、「100 周年への目標」が宣言された。

- 1) 男女日本代表は、2020 年オリンピックにともに出場し、2030 年までには、オリンピック・世界選手権においてメダル獲得を目指す。
- 2) バスケットボール競技の強化と普及を目指し、2030 年には登録者数 100 万人を目指す。
- 3) 2030 年・創立 100 周年に、夢のアリーナ構想「ナショナルバスケットボールアリーナ」の完成を目指す。



2020 年(令和 2)、公益財団法人日本バスケットボール協会 (JBA) は創立 90 周年を迎える。最近の 10 年は、日本のバスケットボール界の歴史にとって激動の 10 年間であるとともに大きな変革の 10 年だった。

最近の 10 年とこれからの飛躍

2010 年から 2020 年に至ったこの 10 年間の歴史を記録にとどめ、後世に残して功労者を称えることも大切で、2030 年に至る次の飛躍の 10 年に繋がるのではないかと考える。

2019 年、男子代表チームの世界選手権の出場、オリンピック 2020 年東京開催が決定して「JBA2010 宣言」の通り、男・女ともに日本代表チームのオリンピック参加が実現した。このように、日本のバスケットボール界が大きく飛躍したのは、JBA 関係者が「日本一丸」となって努力した結果である。

2020 年東京オリンピックから、バスケットボールの新種目として、男・女 3 人制バスケットボール「**3 x 3**」(スリーエックススリー) が正式採用された。

バスケットボール種目が 4 カテゴリーとなり、日本は開催国枠として、【男・女 5 人制】と【男子 **3 x 3**】への出場が決定している。【女子 **3 x 3**】はオリンピック出場をかけてインドで 3 月 18 日(水)から開催される予選に出場する。

2030 年に至る「100 周年への目標」の達成には、JBA だけでなく、「日本一丸」となったバスケット界全体の協力と日本スポーツ界の環境の変化に即応した体制の確立などに、更なる努力・変革が必要になる。

以上

医科大学スポーツの在りかた

医学部バスケットボール部を取材して

[普及部]

高校時代の学業成績に関係なく、推薦入学でき、体育会でバスケットボールだけやっておれば卒業できるといったことが問題になって久しい。文武両道を目指す学生スポーツの本来の有り方からするとおかしいとの議論を踏まえ、昨年3月には日本版NCAAである大学スポーツ協会（略称UNIVAS）が発足し、三大柱の一つに「学業充実」が掲げられた。そんな中、長年にわたり、文字通り文武両道で部活を続けているのが大学医学部のバスケットボール部である。

本稿ではそれに焦点を当ててその活動を紹介することで、現在、ミニ、中学、高校とバスケットを続けている子ども達で、将来医学の道に進みたいという夢をもっている若者にチャレンジの勇気を持って貰いたいと思う。言うまでもなく、医学部入試は最難関の道、周りからの圧力で部活継続をあきらめかけている受験生も多いのではないかな。このようなことは或る意味、やむを得ない面もあるだろう。

今回は、そんな若者に夢を捨てずに部活と勉学の両立を通じ、医学の道に挑戦する勇気をもって貰いたいと思い、本稿を纏めた。

ところで、「お医者さんとバスケット」で最初に思い浮かぶのは「ドクター」とよばれ、戦前は東京大学の名センターとして、戦後は国際審判員、協会役員としてもバスケット界で活躍された故古川幸慶氏。

身近なところでは、大会主催のシニアバスケット交歓大会の常連である兵庫県シルバーキッズの日笠敦氏。旧制神戸二中から弘前大学医学部に進学され、長年、兵庫県で医師としてご活躍される傍ら、バスケットを続けてこられ、全国医学部バスケット大会を主導されてきた。先生は現在93才（1926年生れ）であるが、86才頃まで代々木第二のコートでプレーされていたのが老生の目にも焼き付いている。

次に、団塊世代一期生の老生から見て身近に思い浮かぶのは池田康夫氏。武蔵高校では主将を務め、インターハイに2回出場し、ベスト4まで勝ち進んだ。その後、1962年に現役で慶應義塾大学医学部に進学し、医学部バスケット部でも大活躍、現役引退後は学生の面倒も見ながら、大学病院の副院長や学部長を歴任された池田先生、血液内科学の権威でもある。

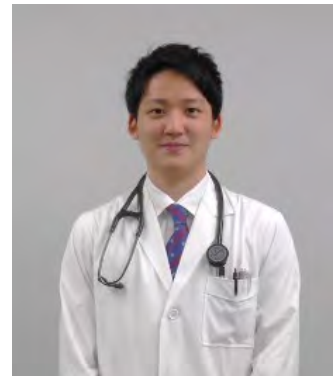
そしてもう一人、故川原信隆氏、桐朋高校時代国体少年の部で東京都代表選手として3年の秋までプレーを続け、1976年に現役で東京大学理Ⅲに進学、バスケット部員としても大活躍。横浜市立大学医学部の教授時代に急逝されたのが惜しまれる。

こんなスーパースターの出現は今後あまり期待できないかもしれないが、医者を目指して文字通り文武両道を実践している大学医学部バスケット部の中から、慶應義塾大学と日本医科大学、両校のバスケット部の活動を紹介させて頂く。

ちなみに当振興会の小澤副会長も若い頃、毎年2月に開催される医科系大学リーグ戦の審判を担当していた。

慶應義塾大学医学部男子バスケットボール部（竹龍会）

今回取材に応じてくれたのは、5年生で選手兼主務の熊谷光祐氏。同氏は中学からバスケットを始め、高校時代は医学部受験の為、部活を断念し、大学入学後、再開、現在、5回生で部の主務兼センタープレイヤー、特にその沈着冷静なプレーがチーム内でも際立っており、クラッチシューターでもある。



・慶應義塾大学男子バスケット部の歴史と現状

記録に残っている 1955 年以降、医学部では最大の大会である東日本医科学生総合大会（東医体）では過去 13 回の優勝を誇る名門であり、常に他大学の打倒の目標となっている。最近では 2013 年に優勝、2017 年に準優勝を飾っている。

・バスケット部のモットー

一日の練習、一つひとつのプレーに真剣に全力で取り組む。練習は週 3 日 18 時から 20 時まで。

・学業との両立と苦労談

勉強は自分でやるものといったカルチャーがあり、授業の束縛も少なく、学校も部活を勧めている。1 回生と 2 回生の前半までは一般教養科目が多く、比較的余裕があるが、2 回生の秋からは、朝から夕刻まで毎日、2 か月続く解剖実習がある。精神的にも肉体的にもかなりきついが、同期で励ましあってなんとか乗り越えている。そのことで同期の結束力が高まっていく

・バスケットに対する熱い思い

他校からいつも目標にされているといったこともあり、とにかく、熱心。特に先輩、それだけでなく忙しい医学部の先生やお医者さんが一所懸命に応援してくれているので現役としても熱が入る。技量はともかく情熱では体育会に負けない。

ここでは、現部長の中村雅也先生（87 年卒、現在、同大学医学部整形外科教授）の 2017 年の東医体準優勝に際しての回想記から、その思いを汲み取って頂こう。

「私は、準決勝・決勝の当日の朝に国際学会から帰国し、成田空港から直接、試合会場の一関に向かいました。――中略――準決勝は延長の末、接戦をものにし、決勝の相手は群馬大学で東医体 2 連勝中、本当に強かったです。現役のみんなは本当に良く戦ってくれました。試合後のミーティングでは現役当時の気持ちにタイムスリップしてしまい、私も心の奥底から熱いものがこみ上げてきました。――中略――学生スポーツにおいては勝ち負け以上に、その過程で何を学び、何を得ることが出来たかが、その後の人生では、もっと重要です。仲間との絆や感動といった素晴らしい経験をした皆さんは、必ずや素晴らしい医療人になると確信しています」

・バスケットをやりながら医学部進学を目指す中高生へのエール

医学部というと勉強ばかりしているイメージが強いが、決してそんなことはなく、スポーツも盛んであり、かなり本格的にやっている（3～4 年前から系列校の生徒に医学部バスケット部の活動を積極的に PR している）。慶應義塾大学医学部は 1 学年の募集人数は 110 名、内部進学者が約 40 名で外部が約 70 名。20～30 人は浪人生といった構成。医科大学全体では、インターハイや国体経験者もあり、この人たちは勉学との両立で医科大学に進学している。ということで、バスケットを続けながら、医学部を目指してほしい。

日本医科大学男子バスケットボール部

今回取材に応じてくれたバスケットボール部長の別所竜蔵教授（88 年卒）。先生は同大学千葉北総病院の副院長を務めておられ、超多忙の中、我々の依頼を快く受け止めて約 1 時間、熱く語って頂いた。

先生は中学入学後バスケットを続けていたが、中学 2 年の時、ヘルニアを患い、部活動中止を余儀なくされた。大学入学後、バスケットに対する不完全燃焼感もあり、バスケット部へ入部、先輩、同僚、後輩に恵まれ充実した部活動を送るとともに勉学にも励み、首席で卒業された文字通り文武両道の人。現在、副院長や心臓外科医として超多忙の中、部長として熱い心とまなざしで後輩の面倒を見ておられる。



- ・日本医科大学男子バスケット部の歴史と現状

1931 年創部、よって 2020 年で 89 年の伝統を持つ医学界の名門部。戦前の 42 年に関東医大リーグで優勝、戦後は 55 年の関東医科大学総合体育大会で優勝、64 年の関東医科歯科トーナメントで優勝、2005 年の東日本医科学生総合大会（東医体）で準優勝の実績がある。選手は最盛期には 30 名近くいたが、現在は 15 名程度、うち半数超が高校まではバスケット経験なし。

- ・バスケット部のモットー

文字通り「文武両道」、1 回生から必修科目ばかりで息つく暇もないのが実情。体力面は勿論、精神的にもきついが、将来、医者として独り立ちすることを考えるとこの厳しい経験が必ず役に立つ。特に部活で培われたコミュニケーション能力は患者さんとのやり取りで役立つ。練習は週 3 日（火、木、土）7 時間。

- ・学業との両立と苦労談

学業成績が芳しくない学生がいると部活の経験ない先生から色々と注文がくるが、なんとか跳ね返している。昔は部活を頑張る学生ほど成績もよかったので違和感を抱いている。このことはラットの実験で医学的にも証明されている。

- ・バスケットに対する熱い思い

ここでは二人の O B に登場して頂く。記念誌に寄せられたメッセージからその思いを汲み取って頂こう。

神尾友和先生（65 年卒）－現役時代は主将として活躍、80 年から 87 年まで部長。

「学生時代部生活と医師になってからの教室生活とは類似点が多く、前者を満足に過ごせない者が良い医者になることは難しい。更にどちらの生活もチームワークが重要となる。これはここに特技を有した人たちの切磋琢磨の上に成り立つものであり、自分の個性を生かした特技を身に着けるべく努力がなされるべき」

－回想録に寄せられた神尾先生から現役部員へのメッセージ。

落雅美先生（75 年卒）一名門私立武蔵高校で畑先生の指導を受け、現役時代主将として活躍、卒業後も後輩から「鬼コーチ」と恐れられるほどの厳しい指導で、チームの躍進に貢献、04 年から 14 年迄部長。

「何やってるんだ！走れ！やる気があるのか！と厳しい檄が飛んでくる。練習が終わるのが待ち遠しかった。しかし彼のコーチにより、我々のボールに対する執着心、フットワーク、攻撃と守備の構成等が目覚ましく向上した。我々に有無を言わせぬスピードのある素晴らしいプレー、そのバスケットに対する情熱に圧倒された。落先生が後輩の指導にこれほどまでに専念されたことは頭の下がる思いである」

ー後輩が回想録に寄せた落先生に関するメッセージ。

- ・バスケットをやりながら医学部進学を目指す子ども達へのエール

本人へ：部活を続けていると集中力が高まるだけでなく、部活を辞めてから受験までの頑張りが効いて成績が大幅に伸びる。但し、最近の高校生はスマホにかけ時間が多すぎるのでこれを上手くコントロールすること。

保護者へ：医学部進学を目指し、小学校 3 年生から専門の塾に行かせる時代になっている。保護者には、子供の教育に関心を持って貰いたい、周りの情報にふりまわされないことに留意し、子供の頑張りを見守ってやって頂きたい。

取材後記

プラザ掲載で何か面白い記事はないかと思い悩んでいた時、鹿子木理事から医学部のバスケット部を取材してみてはとの提言を頂いた。同理事が一時コーチをされていた関係で慶應義塾大学医学部 5 年生選手兼主務の熊谷光祐氏を紹介頂き、また、同理事の高校（私立武蔵）バスケット部の後輩で、現在、日本医科大学名誉教授で心臓外科の権威でもある落雅美先生を通じ、日本医科大学バスケット部長の別所先生を紹介頂き、取材させて頂いた。

「医学部のバスケットと言っても将来医師になるのが目的で在学しているのだから、勝ち負けはあまり問題にせず、趣味的にバスケットを楽しんでいるのだろう」という漠然としたイメージしか持っていなかったが、これがとんでもない誤解であること、むしろ部活での頑張りが、医師としてのその後の人生に大きくプラスしていることを今回の取材で知ったのは、老生にとっては新鮮な驚きであった。

最後に、取材の中で感じたことをいくつか述べ、本稿の締めくくりとさせて頂く。

- ・とにかく先輩・後輩の繋がりが強いこと。
- ・学生が大会を自主運営していること（学連といった）。運営組織はなく、大学の持ち回りで自主運営している。
- ・コーチ兼選手、主務兼選手といった形での運営が普通で、専任のコーチが付くのは例外。その分、部員間のチームワークは良いが、やはり、ベンチワークをやるコーチがほしいといった声が多い。
- ・そして、何よりも関係者のバスケットに対する熱い思い。
実力的には、誤解を恐れずに言えば、関東学生の 3 ～ 4 部レベルといったところだが、バスケットボールへの熱い思いは 1 部チームにも負けていない。

（文責 蒲田尚史）

会員だより



リングに向かって“飛べ”10年後の子供達

その6：埼玉県立飯能高校女子バスケットボール部

鈴木 承二

2019年 10月23日、埼玉県立飯能高等学校女子バスケットボール部を訪問した。

昨年12月18日に訪問した男子バスケットボール部は2019年2月の「バスケットボールプラザ No. 81」で紹介したが、今回は女子バスケットボール部の紹介である。

地元では“飯高”と呼ばれる歴史のある高校で、埼玉県西部の地区で通学範囲も広く、所沢、飯能、日高、川越、秩父、入間、の6地域からと広範囲からの生徒が集う学校で、68%が大学、短大、専門学校に進学している進学校といっても過言でない。そんな中でのバスケットボール部を指導している福田麻衣子先生に“飯高女子バスケットボール部”を紹介して頂いた。

飯能高校学校：

創立 1922年

女子バスケットボール部 全国大会出場の実績あり



福田麻衣子先生：

バスケットボール歴

高校では県大会に出場

社会人バスケットボール大会（青年大会）で全国大会に出場

職歴

東京理科大学卒業

現在に至る

会員だより

飯高女子バスケットボール部への思い

顧問 福田麻衣子

飯能高校女子バスケットボール部は、かつて全国大会に出場した実績をもつ。現在のチームは「県大会に出場し、1回戦を突破すること」を目標に掲げ、日々の練習に励んでいるが、ここ最近の成績は5年前に県大会に出場したきりである。私の指導は「バスケットボールを楽しむこと」を核としている。

まずは自分で選んだ競技を楽しみ、その中で強くなるために必要な選択ができれば・・・と。

激しいことや辛いことを自ら選び、仲間たちと共に乗り越えた後にある達成感や、頑張ったことによって得た力を感じてもらいたい、方針は主に「自分の考えを持つこと」・「ミスを恐れず行動すること」・「自己犠牲の精神を持つこと」の3つである。

この先、バスケットに関わった仕事に就く者、ましてやプロのプレーヤーになれる者はほとんどいないだろう。しかし、何かしらの辛い現実にあふつかったときや、人生の岐路に立った時に、高校時代に頑張った“部活”が必ず支えになると信じている。そのために自ら考え、チャンレンジする経験を重ね、問題解決能力を身につけて欲しい。そして、人のために働くことで相手を思いやる心や、視野を広く持つ人間に育って欲しいと考えている。

練習では細かい技術よりも走ることや、与えられた状況からどうゆう選択をするかを考えさせることが多い。指導者と個人、そしてチームがどうするかをディスカッションし、より良い「飯高女子バス」を作り上げていきたい。

以上





アジアのバスケット好きな仲間たち その7：第13回アジアシニア日本人大会観戦記

鈴木 承二

今回は、バンコックで2019年10月に開催された首記大会を観戦したので報告する。

バンコックバスケットボールチーム「Naughty Kid's Party Junior」（通称NKPJ）は、2019年に結成してから20年となり、バンコック唯一の日本人バスケットチームである。5月にバンコックで開催された第15回アジアカップでは、女子2位、男子3位であり、8月にシンガポールで行われた第13回アセアンカップでは男女が優勝した。

アセアンカップとは、アジアカップに参加する各国を中華圏と東南アジアに二分して、1年おきにアジアカップの中間時期に開催される大会の一方で、東南アジア（含むインド、ミャンマー）側の大会を称している。中華圏側は台湾、香港を含んだ各都市で名称をチャイナカップとしている。

そして今回の第13回アジアシニア大会（40歳以上）とスーパーシニア（50歳以上）に臨んだ大会では、見事、シニアとスーパーシニアを優勝して2冠を成し遂げた。女子は接戦のすえ3位、今回の大会は、男子12チーム、女子9チームが参加する大会になったが、ホームチームのバンコックメールの力強いバックアツプで大会を成功裡に終了した。



スーパーシニア優勝のバンコックチーム



試合開始前のルール説明風景

会員だより

試合前日に行われた各国代表の打ち合わせで、シニアとスーパーシニアを分けて開催したらとの提案があり満場一致で可決した。すなわち、今回のように 216 名での大会開催は、ホスト国の負担と日数に限りがあり、また年々増加する選手のホテルの手配、会場と運送手段、昼食の手配も半年前からの準備期間が必要となるからである。

アジアカップはそれ程の増加はないものの、40 歳過ぎると、シニア大会に参加するメンバーが増える傾向である。

2020 年は第 14 回のシニア記念大会で、開催国は“香港”とし、スーパーシニア（女子の試合を含む）はシニア発祥の地のバンコックで開催が決まり、2 月までに日程を組み各国に連絡することとなった。

2005 年にアジアカップを立ち上げてから、今年で 15 年になる。母国、日本と同じくシニアのバスケットボールプレーヤーが多くなり、その影響でアジア各国の日本人学校のバスケット人口が増えている。この流れを絶やさないように子供達の支援をお願いしたい。

*シニア順位

1－バンコック、 2－上海、 3－深圳、 4－香港、
5－ハノイ、 6－シンガポール B、 7－ホーチミン、 8－チャイナ Mix、
9－シンガポール A、 10－クワランプール、 11－蘇州、 12－広州

*スーパーシニア（女子混合含む）

1－バンコック、 2－ハノイ、 3－ホーチミン、クワランプール混合、
5－チャイナ Mix、 6－上海、 7－シンガポール、
8－蘇州、 9－香港、 10－バンコック女子（単独チーム）

*MVP （どちらも優勝チームから選出された）

*シニア： 叶肴、バンコック、
*スーパーシニア： 岡崎隆史、バンコック

これらの表彰式は 7:30pm よりバンコック市内中心部にある Pulln Bangkok Grande Hotel のバンケットルームにて盛大に表彰式と余興が行われた。

同郷、学校の先輩、後輩、社会人の同窓、が各テーブルに集まり、近況と来年の再会を誓い合い、夜の二次会に流れ、とても清々しいスポーツマンの後ろ姿でした。

今年の雪辱から反省をし、翌年の大会に向かい練習強化を互いに誓い合った“宴”でした。



タイの F I B A 公認審判員

以上



鹿嶋アジアユースを終えて

第 11 回ネットボールアジアユース選手権大会

多胡 英子

2019 年は、ネットボールが日本に上陸してから、30 周年記念の年でした。私にとっても、ネットボール界に入って 10 周年という節目の年でもありました。

この記念すべき年に、念願の第 11 回アジアユース選手権大会を日本に招致することが出来ました。アジアユースというのは、21 歳以下の大会です。アジア大会は年齢制限がありません。前年は、シンガポールで、アジア選手権大会がありました。2019 年はアジアユース選手権大会です。アジア大会とアジアユース大会が、交互に 1 年おきに行われます。

レベル的には、アジアユースは若い選手ばかりですので、ベテランの多いアジアメンバーに比べれば、まだ修行が足りないという感じです。しかし、各国とも身長の高い選手が多く、日本にとっては、強敵ばかりです。

今回、一番大きい選手はインドの 201cm の 20 歳でした。その選手の 15 歳の妹も 192cm と驚異的な姉妹でした。日本で一番高い選手が 173cm で、あとは 160cm 代ですから、日本らしい工夫が必要です。

日本はインドとの戦いでは、惜しくも負けましたが、この高い選手に 173cm が絡みつくように守り、善戦しました。どの競技もそうだと思いますが、小さい日本が工夫を凝らして闘い、勝利を得ることが、常に課題だと思います。

私は、今まで全日本監督・ヘッドコーチとして、7 年前からスリランカアジア選手権大会、ブルネイアジアユース選手権大会、シンガポールアジア・香港アジアユース・タイランドアジア・韓国アジアユース（欠場）の各大会、前回 2018 年のシンガポールアジア選手権大会と続けてきました。

韓国アジアユースを欠場したのは、日程が合わず、行けるメンバーが揃わなかったからです。韓国は学校の年度初めが 3 月 1 日ですが、日本は 4 月 1 日です。5 月開催として計画された大会は、大学生中心の日本には、厳しく参加できなかったのです。

世界の学校は 9 月 1 日始まりです。世界共通にして頂かないと、世界の大会に参加しにくいというのが現状です。今回の大会も 6 月末から 7 月にかけて実施するようにと、シンガポールにあるアジア連盟から指示があり、日本としては、本当は夏休みの時期が良かったのですが、6 月 29 日土曜日開会式からスタートし、7 月 7 日日曜日が閉会式というスケジュールで行いました。



JNA 提供 ネットボール競技風景

会員だより

日本中に歓喜をもたらしたラグビーのワールドカップは 44 日間という長い間の戦いで驚きましたが、ネットボールも 9 日間という長い間にゲームがあります。それは、15 分を 4 回プレイする 1 試合 1 時間半の激しい試合が 1 日に 1 試合以上は無理だからです。普通、大会の 2 日前に現地入りし、閉会式の次の日に帰るという 12 日間の長丁場です。

前半に予選リーグがあり、1 日間、代表者会議があり、試合はなく、選手は休みです。



JNA 提供 参加チーム集合

後半は、決勝リーグです。この大会の良いところは、ビリ決定戦まで、徹底的に順位決定戦を行うところです。この戦いをやっていく中で、事前練習の足りない日本は、どんどん上手になっていくというのが、いつものパターンです。

今回の私は、大会委員長ということで、「ヤングつばき

JAPAN」のチームは昨年のアジア大会の選手で 22 歳以上の 4 人のスタッフに任せ、大会運営に専念しました。

本大会は、茨城空港から 30 分という地の利を生かして、サッカーで有名な「鹿嶋市」で開催させて頂きました。しかし、自宅がある安中から遠く、事前打ち合わせや準備等で沢山の困難がありました。何度も、ショックを受け、くじけそうになりましたが、不屈の精神で、頑張りました。絶対にやり遂げるという強い意志の元、沢山の仲間、日体大群馬県同窓会の特に女子の皆さんの手助けもあり、なんとかやり遂げることが出来ました。

長距離運転のし過ぎから、右変形性股関節症になり、人工関節手術を大会終了後することにして、松葉杖で乗り切りました。

周りの人から見たら、時期尚早であり、私財までつぎ込み、馬鹿と思われたかもしれません。しかし、意地でもやり遂げるという強い気持ちが、私を突き動かしました。寝ても覚めても風呂に入っている、常に頭の中は、大会のことで一杯でした。

次から次と湧き出て来る難題を一つひとつ解決しながら、妥協せず、やれるだけのことをやりました。助けてくれる仲間の存在も、有り難かったと共に、これを機会に新たな仲間も増えました。

何ととっても良かったことは、今まで疑問に思っていたことが、良く理解できたことです。又、アジア 11 ヶ国の参加して下さった選手・スタッフ・審判団・アジア連盟の役員・各国のプレジデントの皆様が、大会を楽しみ、満足して帰国してくれたことです。

後日、アジア連盟から、お褒めの言葉もありました。

その後、25 日間休養も兼ねて入院し、今はすっかり元気になりました。

以上



12月21日はバスケットボールの日

東京都狛江市などで記念行事開催

[普及部]

1891年12月21日は、「バスケットボール」のファースト・ゲームが行われた日です。場所は、アメリカのマサチューセッツ、スプリングフィールドの国際YMCAトレーニングスクールでした。創案者は、ジェイムス・ネイスミス博士です。

日本で『世界に先駆けて、バスケットボールの誕生日をお祝いする！』という取り組みをはじめ、2011年12月に第1回目の「Basketball Birthday Classic」を開催しました。

バスケットボール競技は、2019年で128才になります。現在「12月21日はバスケットボールの日」(代表 島本和彦)の主催の下、全国で各々開催地の特色を生かしたイベントが開催されました。

2019年の主な開催日、開催地は下記の通りです。

11月30日	秋田県能代市	能代山本スポーツリゾートセンター「アリナス」
12月01日	香川県高松市	かがわ総合リハビリテーションセンター体育館
12月15日	東京都狛江市	狛江市民総合体育館
12月21日	沖縄県那覇市	国際通り
12月22日	千葉県市原市	三和コミュニティセンター体育館

香川県高松市「バスケ祭り Basketball Birthday Classic」

案内パンフレットには、柴田氏が渡辺雄太選手について記事を載せています。



高松市のパンフレット

沖縄県那覇市

国際通りで、バスケットゴールを設置して、フリーシューティングやピックアップゲームを実施しました。

千葉県市原市

「バスケットボール愛好者が集うイベント」

市役所の体育館で開催され、元住友金属チームの名シューター、元日本代表でミュンヘン、モントリオールとオリンピックに出場の千種信夫氏が技術指導すると共に、2020東京オリンピックへの思いを語りました。



千葉日報提供 千種氏指導風景

東京都狛江市「Basketball Birthday Classic 2019」

12月15日（日）に前年に続いて狛江市民総合体育館で開催されましたので報告します。

今回は、1964年の東京オリンピックにバスケットボール男子日本代表選手として活躍した木内貴史氏（旧姓増田）を特別にお招きし、当時の体験などについて講演していただきました。木内氏は、現役時代と変わらずに熱く当時の日本のバスケットボール、特にコーチ吉井四郎氏のディフェンス、オフェンス、及びチーム事情、について、約1時間お話ししていただきました。この講演は、50年以上前の日本バスケットボールを知るうえで非常に興味ある内容でした。感謝申し上げます。



狛江市のパンフレット



講演する木内氏(左) (右は島本代表)



サイン入りブロマイド

当日、会場では、リレーゲーム、ネットボール体験会、Sitting-Shooter Basketball 体験会、バスケショップSLAM出展、シューズの履き方講座の実施、NBAの歴史講座の開催、大修館のスポーツ、バスケ関連図書などの出店販売、能代バスケミュージアムの展示、韓国のケーブルタン「李想白」の映像など、盛りだくさんの内容でイベントが実施されました。

最後に恒例の豪華賞品があたる大抽選会があり、会場は大いに盛り上がり、無事終了しました。

以上

第 21 回Wリーグ情報

[編集部]

創立 21 周年を迎えた一般社団法人バスケットボール女子日本リーグ (W J B L) のWリーグオールスター2019-20 in TOKYO は 2020 年 1 月 19 日、アリーナ立川立飛に 2479 名のファンを集め開催された。

開幕イベント：各チームのマスコットによる I S T Gヘビー級王座決定戦

椅子取りゲームで東京羽田ヴィッキーズのヴィッキーちゃんが初代 I S T G王座に輝く。

Wリーグ フレッシュ☆オールスター：10 分×2 のハーフゲーム

今シーズン活躍している東藤なな子(トヨタ紡織)他、U22 チームとユニバーシアード大会 4 位メンバーを擁した U24 チームが対戦した。後半戦、U24 の千葉歩選手(新潟)が 16 点(3 ポイントシュート 4 本含む)をあげ活躍し勝利した。(M V P：千葉歩)

吉田亜沙美 presents DREAM GAME：7 分×2 のハーフゲーム

JX-ENEOS OG のチーム yellow と花の 87 年組を中心にしたチーム black が対戦した。終始リードしたチーム yellow が 23—14 で勝利した。(M V P：田中 莉佳選手)

オンザコート presents スキルズチャレンジコンテスト

アーリーエントリー(トヨタ自動車)された永田萌絵選手(インカレ M V P)がデモを行った後、8 名の選手がチャレンジし、30.21 秒で安間詩織選手(トヨタ自動車)が優勝した。

ニチバン presents 3 ポイントコンテスト

3 連覇した山本千夏選手、他 7 名が出場しチャレンジした。三好南穂選手(トヨタ自動車)が 17 点をあげ優勝した。

Wリーグオールスター

ファンの要望に答えチームメイトが TEAM GREEN と TEAM BLUE に分かれた戦い。昨年、話題になったラグビーのハカやリストアップを披露しファンを喜ばし会場を盛り上げた。第 3 Q に 66—70 とリードされた TEAM GREEN が第 4 Q に 35 点を取り逆転し、TEAM BLUE に勝利した。21 点をあげた馬瓜エブリン選手(トヨタ自動車)が昨年に続き M V P に選ばれた。



F I B A アジアカップ 2021 予選始まる

2月21日から第1ラウンド開催・日本の日程

[編集部]

2021年に開催されるF I B Aアジアカップ（男子）の予選が2月20日から始まる。このアジアカップは2022年に開催されるワールドカップの地域予選の一つとなる。

出場チームは下記24チームで、6グループに編成され、3つのウィンドウに分けられてホームアンドアウェー方式で第1ラウンドを戦う。第1ラウンドで、各グループの上位2チーム、合計12チームが本戦へ出場する。

第1ラウンドで各グループの3位チーム、合計6チームは2グループに編成され、グループごとに2021年6～7月に対戦して、各グループで上位の2チーム、合計4チームが本戦へ出場できる。

アジアカップ本戦には、16チームが出場する。

予選出場チーム

グループA	インドネシア	韓国	フィリピン	タイ
グループB	中国	*タイペイ	日本	マレーシア
グループC	オーストラリア	ガム	香港	ニュージーランド
グループD	バーレーン	インド	イラク	レバノン
グループE	イラン	カタール	サウジ・アラビア	シリア
グループF	ヨルダン	カザフスタン	パレスチナ	スリ・ランカ

*タイペイ = チャイニーズタイペイ

日本チームの第1ラウンド日程

男子日本チームはグループBに属し、第1ラウンドを世界ランク27位中国、62位チャイニーズ・タイペイ、119位マレーシアと下記日程で対戦する。

第1戦は、2月21日（金）に中国と千葉ポートアリーナで闘う。

ウィンドウ	開催日		相手チーム	開催地	
第1	2020年	2月21日（金）	中国	日本	千葉ポートアリーナ
		2月24日（月）	*タイペイ	台湾	@（台北）
第2	2020年	11月26日（木）	マレーシア	マレーシア	
		11月29日（日）	中国	中国	
第3	2021年	2月19日（金）	*タイペイ	日本	
		2月22日（月）	マレーシア	日本	

@（台北）＝ 台北和平バスケットボールジムナジウム

開催地の空欄は未定

事務局だより

[総務部]

◇ 「第13回シニアバスケットボール交歓大会 in YOYOGI」の開催

昨年に続き、「オリンピック記念青少年総合センター」で2020年11月12日（木）、13日（金）の2日間にわたって開催します。

代々木第二体育館での開催を検討していましたが、体育館の耐震工事の終了予定が延びたことなどの事情で、次年度の体育館借用が実現せず、2020年も「オリンピック記念青少年総合センター」での開催となります。2021年には、従来通り「代々木第二体育館」での開催を予定しています。昨年同様に多くのシニアチームの参加をお願いいたします。

◇ 従野明宏先生からバスケット関係書籍などの寄贈

2019年12月に従野先生のご自宅から段ボール箱4箱分のバスケットボールの関係書籍などをご寄贈いただきました。バスケットボールのコーチングに関する貴重な資料が多く含まれており順次整理し公開いたします。

◇ 交通新聞社の取材に対応

先日（1月30日）、大人のための首都圏散策マガジン「散歩の達人」（交通新聞社発刊の月刊誌・毎月21日発売）の記者とカメラマンが事務所を訪れました。東京1964オリンピックの運営にたずさわった役員の方を取材したいとのこと。会員の黒川敏雄氏と羽佐田恭生氏が約2時間、これに対応しました。どのような内容の記事が掲載されるか楽しみです。



取材に対応する黒川・羽佐田両氏

（2月21日発売の「散歩の達人」3月号に掲載とのこと）

◇ 都道府県協会の皆様に機関誌発行費用一部ご負担のお願い

先般来、都道府県協会の皆様に機関誌「バスケットボールプラザ」の発行費用一部ご負担をお願いしており、既に7県の協会からご協力、ご負担いただいております。

引き続き、下記内容にて発行費用の一部ご負担をお願い申し上げます。

発行費用 一部ご負担 年額2000円（年4回分）

ご了承の節には、下記取引金融機関にお振り込みをお願い申し上げます。

振込み口座番号 口座名義

ゆうちょ銀行 00100-3-316035 NPO法人日本バスケットボール振興会

三菱UFJ銀行 神保町支店 普通預金口座 1684743

みずほ銀行 丸の内中央支店 普通預金口座 1004687

特定非営利活動法人日本バスケットボール振興会

プラザ こぼればなし

- ◇ **3 x 3 バスケットボール**の女子日本代表には東京 2020 オリンピックの開催国枠が与えられていない。オリンピック出場には、3月18日(水)～22日(日)にインドで開催される予選に出場して上位3チームに入らねばならない。予選は男女各20チームで戦い、出場20チームは5チームずつの4グループとなり、日本女子は、Pool Bでイラン、ウクライナ、トルクメニスタン、オーストラリアが相手となる。
- 日本がこの予選で出場権を獲得できなかった場合、4月にハンガリーで開催されるユニバーサリティ方式オリンピック選考会での最上位1チームの出場権獲得の大会に参加する。この大会には「優先出場権獲得チーム」として、開催国日本を含む女子6チーム、更に待機チーム3チームが確定している。
- ◇ **女子日本代表**（世界ランク10位）は、2月6日から9日までベルギーのオーステンドで開催された「FIBA 東京2020オリンピック予選大会」に出場した。
- 東京オリンピックでメダル獲得を目標にしている女子日本代表が、世界の強豪国と対戦したことには意義がある。特に、ベルギー（世界ランク9位）戦の最終場面での怒涛の追い上げ、そしてカナダ（世界ランク4位）との2点差の接戦は、オリンピック本大会での活躍が期待される。結果は以下の通りで、このグループで3位となった。
- 2月6日（木） 日本 ○ 75 — 54 ● スウェーデン（世界ランク22位）
2月8日（土） 日本 ● 84 — 92 ○ ベルギー（世界ランク9位）
2月9日（日） 日本 ● 68 — 70 ○ カナダ（世界ランク4位）
- この大会は各大陸予選を勝ち抜いた16チームが4グループに分かれ、各グループ上位3チーム、合計12チームにオリンピックの出場権が与えられる。尚、既に東京オリンピック出場権を持つ、日本（開催国枠）とアメリカ（ワールドカップ優勝）の2チームもこの予選大会への出場が義務付けられていた。詳細は次号（プラザ86号）にてレポートする。
- ◇ **元JX-ENEOSの大崎（旧姓間宮）選手**が上記オリンピック世界最終予選の日本代表チームに出場している。一時は引退した女子アスリートがママさん選手として代表チームの一員に採択されることは、日本女子バスケットボール界にとって初めてのこととなり注目に値する。是非とも復帰を成功させてもらいたいもの。
- ◇ **正月恒例の全日本選手権大会**は、昨年度からファイナルラウンドのみ、今回のオリンピックでも使用されるさいたまスーパーアリーナで開催されている。それまでは代々木第一、第二体育館であった。特に第二体育館は、1964年オリンピック以来、バスケットを愛する者のメッカとなり、バスケットボールプレーヤーは、このコートでのゲームに出場すべく誰しもが努力を重ねていた。
- 現在、野球の甲子園やラグビーの花園に匹敵する、高校生バスケットマンが目標とする場所は、ウィンターカップ開催の武蔵野の森総合スポーツプラザである。全国の高校生プレーヤーは、都道府県の代表としてこのスポーツプラザ出場を目指して精進している。ここ武蔵野の森総合スポーツプラザが新たなバスケットのメッカとなるのであろうか。

NPO法人
日本バスケットボール振興会
〒101-0051
東京都千代田区神田神保町1-40
豊明ビル 301号室
電話／FAX (03) 3219-9311
メール contact@jbbs.jp
